

函大柏稜 接戦制し代表

函工、知内も南大会出場

2020 夏の高校野球大会

函館支部

最終日の26日、函館オーシャンスタジアムで各ブロック代表決定戦3試合を行った。Aブロックは函工が七飯・八雲・大野農の渡島連合を13-1の五回コールドで破り、Bブロックは函大柏稜が4-2で函大有斗を下した。Cブロックは知内が2-0で函ラサルを制した。3校は8月30日から札幌円山球場で開かれる南北海道大会に出場する。

函工は二回2死一、三塁から9番沢田が左翼線に2点塁打を放って先制。続く三回は打者一巡の猛攻で長短9安打を絡めて11点を挙げ、試合を決定付けた。渡島連合は三回1死満塁から挙げた1点にとどまった。

函大柏稜は三回、3番村上の犠飛で1点先制。五、八回にも適時打で1点ずつ



〔函大柏稜—函大有斗〕南北海道大会の出場が決まり、笑顔でスタンドに向かう函大柏稜の選手たち (中本翔撮影)

挙げ、九回に7番長尾が右一点を挙げた。函大有斗は八前適時打でだめ押しの追加一回、4番本田の中犠飛などを

で追いつけたが、後が続かなかった。

知内は一回、二塁打で出塁したら5番川村が捕逸の間に生還して先制。続く三回に4番米田の中犠飛で加点し、リードを守り切った。函ラサルは三回1死から2連続安打で好機を作ったが、併殺打で得点できなかった。(和田樹)

▽Aブロック代表決定戦
七飯・八雲・大野農
00110001
00110013
函工 (五回コールドゲーム)

◇函館支部
(函館オーシャンスタジアム)

<Aブロック>

函工	10-0
江差・七ノ上・函大北	13-1
大野農・八雲・七飯	6-5
函南茅部	29-0

<Bブロック>

函大柏稜	5-4
函中	4-2
檜山	4-0
函大有斗	14-3
函大谷	

<Cブロック>

知内	9-1
函商	2-0
函西館	6-3
函ラサル	5-3

函大有斗に悔しさ晴らす 函大柏稜

「勝たれたいという気持ちでチームが一つになった試合だった」。函大有斗を破り南北海道大会の出場を決めた函大柏稜の主将奈良は充実した表情で話す。

公式戦で函大有斗に勝利したのは2012年秋の支部大会以来。以降の対戦は昨春の支部大会での4-2の敗戦を含め4連敗。「先輩たちの悔しさも晴らせた」と選手たちは喜ぶ。

▽Bブロック代表決定戦
函大柏稜000100100101
函大有斗00000000110124

▽Cブロック代表決定戦
知内
00110000000002
函ラサル
00010000000002

▼狙い球絞りコールド勝ち 「打球がつかって良かった」。函工の主将石岡(3年)は写真は試合を



こう振り返った。チームは14安打を放ち、五回コールドで南北海道大会出場を決めた。好投手が相手だったが、狙い球を絞った打撃練習が

チームは函大有斗との試合のDVDから戦術を分析。相手打線は直球狙いと読み、投手陣は変化球を磨いた。その結果、この日の先発奥本は1-2-1球を投げ

抜き、9回フ失点に抑えることができた。

奈良は「円山でもチーム一丸で勝利を重ね、ベスト4以上を目指したい」と意気込みをみせた。

▼公式戦初の完封勝利 知内の先発斎藤(3年)は写真は9回1-1-9球を投げ抜き、無失点の好投をみせた。「公式戦で完封勝利は初めて」と喜ぶ。休校期間中もピッチング練習を毎日欠かさず、制球力に磨きかけた。南北海道大会に向け「コースが甘くならないよう、しっかり準備する」と闘志を燃やす。



奏功したといい、「常に次の塁を狙う気持ちで戦いたい」と活躍を誓った。